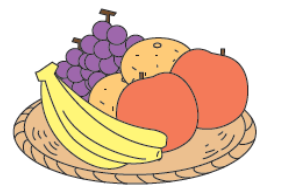




# 平成25年度コミュニケーター養成研修概要



## コミュニケーターとは？

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故から2年が経過した今も、食品を購入する際に放射性物質の不安を抱えながら買い物をする方が多くいらっしゃいます。また、被災地産品の購入をためらう方々もおられます。

- 毎日食べるお米や野菜が心配です。
- 基準値を超えた牛肉を食べた人はどうなるの？
- ペットボトルの水の購入がやめられない。



農林水産、保健福祉、生活環境、学校教育、流通等に携わる方々に、食品中の放射性物質について学んでいただき、食品中の放射性物質に対する疑問・不安にふれた際、その解決につながるヒントを発信する存在として、また消費者が自らの判断で消費行動を行えるような情報発信を行っていただきます。

## コミュニケーターの役割とは？

コミュニケーターの方々の日常業務や社会生活等での情報発信を期待しています。

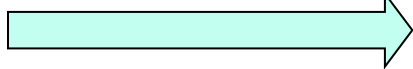
- ※情報発信とは？
- ① 疑問・不安に対する相談対応
  - ② 関係者、消費者等とのコミュニケーション
  - ③ リーフレットの配布
  - ④ 消費者庁提供のDVD等を用いたミニ集会...など、できる範囲、可能な方法でそれぞれ情報発信していただきたいと考えています。

## 養成研修開催イメージ

情報発信ツール(DVD・リーフレットなど)の紹介・提供等も行います。

### 【第1回:養成研修会(イメージ)】

	内容	時間
1	放射性物質に関する基礎知識 簡単な実験などを通し、放射線について理解を深めます。	60分程度
2	「食品と放射能」に関するDVD上映 映像を通して食品中の放射性物質の「今」を理解します。	30分程度
3	食品中の放射性物質に関する講座 「基準値の意味は？」「検査はどのように行われているの？」などの疑問をQ&A方式で分かりやすく学びます。	60分程度
4	話し方テクニック講座・ケーススタディ 情報を分かりやすく伝えるノウハウを学ぶ講座や、ケーススタディによるコミュニケーションの実践講座を行います。	60分程度



**情報発信  
情報共有**

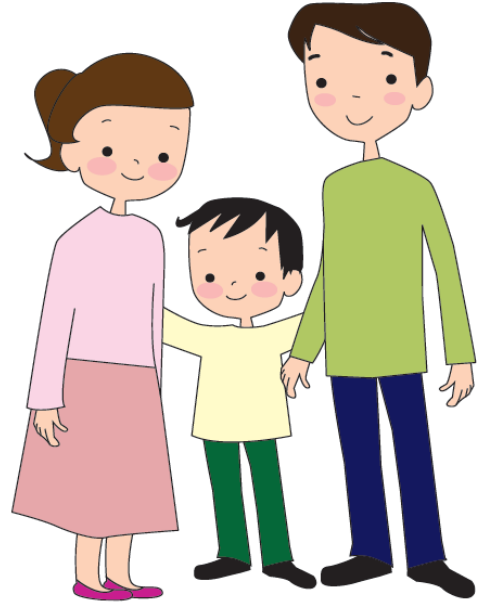
コミュニケーターとして様々な場面で情報発信していただき、その結果をフィードバックいただくようお願いします。

フィードバックいただいたデータは、その内容をまとめて、フォローアップ研修等に活かしていきます。

### 【第2回:フォローアップ研修会(イメージ)】

	内容	時間
1	フォローアップ 「うまく情報発信ができなかった」「さらに疑問がわいてきた」...などの課題を一緒に解決しましょう。	60分程度
2	基調講演 情報交換会 流通等の現場の声、人体影響など専門分野、参加者同士の情報交換などを予定しています。	60分程度
3	質疑応答・意見交換	30分程度

情報発信の悩みや新たな疑問の解決などのフォローアップを行います。



※研修回数などは開催会場によって異なります。また内容については変更となる可能性があります。